



文字を支える書字材料

～パピルス・羊皮紙・紙・活版印刷～

趣旨説明 永井正勝 (U-PARL 特任准教授)

アジア発祥の書字材料「パピルスと羊皮紙」

— その製法実演

八木健治 (羊皮紙工房代表)

アジアの紙を俯瞰する

— 情報伝達基盤のグローバル化

小島浩之 (東京大学大学院経済学研究科講師)

活版印刷術の黎明

— デジタル時代のゲーテンベルク聖書研究から考える

安形麻理 (慶應義塾大学文学部准教授)

〈実物閲覧の展示物〉

1. パピルス：パピルス草、パピルス紙制作道具、デモティック文書
2. 羊皮紙：ユダヤ教トーラー巻物(民数記完本)、ゲエズ語冊子
3. 紙：15世紀スペインの紙文書、19世紀オスマン朝の紙製手書きコーラン
4. 活版印刷：ペーターシェファー印行 15世紀マインツの印刷物零葉 など

2018.7.14 |土| 14:00 ～ 17:00

参加無料(定員50名)

事前にホームページからお申し込み下さい

<http://u-parl.lib.u-tokyo.ac.jp>



場所：東京大学本郷キャンパス

伊藤国際学術研究センター ギャラリー 1 (B1F)

アジアと図書館を楽しむトークイベント

ASIAN LIBRARY CAFE

アジアンライブラリーカフェ

400:

U-PARL



東京大学附属図書館 U-PARL (アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門)

U-PARL は 2014 年に附属図書館に設立された、図書館とアジアをむすぶ新たなかたちの研究拠点です

<http://u-parl.lib.u-tokyo.ac.jp>